

AO・推薦入試対策が人気

【SFC (慶応大学湘南藤沢キャンパス)で何を学んでいるのか、もっと具体的に書き込まないと。これじゃ、一般論だよ】

7月中旬、東京都千代田区にある早稲田塾秋葉原校。約2週間後に迫ったSFCのAO入試の出願に向け、高校3年の男女15人が真剣な表情で講師の指導を受けていた。SFCは1990年、AO入試を日本で初導入した。藤沢キャンパスにある総合政策、環境情報系の学部で、定員各425人の約2割をAO入試で受け入れている。

大学にAO・推薦入試で進学する生徒が全体の4割を超えるようになり、AO・推薦入試対策の塾の受講生が増えている。学ぶ意欲や目的を面接や小論文などで総合的に判定する入試を突破するため、講師のアドバイスを受けながら「研究したいテーマ」や「将来の目標」を掘り下げるのが特徴だ。ペーパーテストで暗記型の知識を測ることに偏った従来型入試からの脱却は、文部科学省が目指す入試改革の方向性とも一致する。専門家は「大学は、一般人入試では測れない個性や能力の持ち主を求めている」と話す。

塾の受講生増える

●何を学ぶべきか

早稲田塾は現役高校生を対象とした塾で、首都圏で23校を展開。AO・推薦入試の普及を受け、2000年に慶大や早稲田など有力校のAO・推薦入試の特化型クラスを設けた。当初の受講生は数百人だったが、ここ数年増え続けた。現在は約13000人が通う。秋葉原校の講座では、慶大AOBや現役慶大生が講師を務め、志望理由書や入学後の学習計画の書き方などをマンツーマン指導していた。

AO・推薦入試

AOは、米国の大学で入試を担当する「アドミッシン・オフィス(入学事務系)」に由来する。学力試験に偏ることなく、志望理由書などの書類審査と面接などを組み合わせ、受験生の能力や適性、学習への意欲などを総合的に判定する。一方、推薦入試は出身高校の校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として、面接や小論文などを活用して判定する。原則として学力検査は免除される。

「将来の目標」掘り下げ



講師(左手前と右端)のアドバイスを受けながら、志望理由書を作成する受講生らー東京都千代田区の早稲田塾秋葉原校で

●AO・推薦入学4割

AO・推薦入試対策などを指導する塾「洋々」(渋谷区)は06年の創業。コンサルティング会社の元採用担当者や弁護士らが講師となり、「将来のために何を学ぶのか」を掘り下げていく。受講生は毎年2割増え、現在は約2000人が在籍。地方の生徒にはインターネット電話を使った指導もしている。執行責任者の江口輝彦さんは「高校では学習指導要領に沿った教科の指導が中心。AO対策までは手が回らないのが実情ではないか」と受講生が増えた理由を分析する。

【佐々木洋、写真も】

だが、ネットイブンスピーカーの先生の指導を受けながら帰国子女や英検準1級の人たちと英語で討論やプレゼンテーションをできたことは刺激になった。日本文化を発信する仕事があった」と話す。

文科省によると、全国の国公私立大でAO・推薦入試の入学者が占める割合は、調査を開始した00年度は約33%だったが、14年度は約43%に達した。東大と京大も、来春の入学者を対象とした16年度入試から推薦入試を導入する。大学入試に詳しい駿台予備学校進学情報センター長の石原賢一さんは「東大や京大などの上位校は、全科目ができる優等生ではなくても、特定分野に傑出し将来、研究者になるような人材を求めている」と分析する。一方、定員割れしている私大の中にはAO・推薦入試を定員確保のために利用し、基礎学力不足の入学が増えているところもあるという。石原さんは「18歳人口の減少で、大学の生き残りにはさらに厳しくなる。4年間で学べるような教育を与えられるのか、今後は大学の教育力が一層問われる」と指摘した。

MAINICHI

新毎日

8月24日(月)
2015年(平成27年)

発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社



<お問い合わせ> AO入試・推薦入試・小論文対策の塾 洋々 事務局
Tel. 03-6433-5130 (平日 14:00-21:00、土曜 9:00-18:00) E-mail. you2_info@you2.jp
【渋谷本校】: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-10-4 メゾン・ド・ユニー2階(渋谷駅宮益坂口徒歩6分)